

学習の援助、居場所づくり …

支援の輪は広がり、同団体には現在、大学生を中心に高校生から50代までの約140人がボランティア登録。明石市や加東市でそれぞれ週1回、小学4年生～中学3年生の学習を支援し、不登校の子の悩み相談なども行っている。明石市内では月1回、子ども食堂も開いており、耳が聞こえない人と健常者が一

同法人は、兵庫教育大学4年の多田実乗さん(22)＝東野町＝が中心となり、明石北高校在学中の2013年に同級生と設立。11年に大津市で中学2年生がいじめを苦に自殺したことや、子どもの貧困に胸を痛め、活動を始めたという。

工作イベントを子どもたちと楽しむ多田さん(右から2人目)
=東仲ノ町

住宅借りる資金を募集

緒に活動する団体を招き、人形劇の公演なども行った。新拠点は、やりたい事業をタイミングを逃さず実施するために計画。8月ごろの開設目標に、これまでの活動を継続しつつ、高校生の自習室設置や他の団体との連携を模索する。明石市内の一戸建て住宅を借りて、

週3～4回活動する方針。賃貸住宅の敷金や礼金、当初の家賃などに充てるため、必要な70万円のうち50万円を募つており、目標金額に届かない場合は全額返金されるという。

資金募集のオープニング行事として、東仲ノ町の「ウイズあかし」（アスピア明石北館）で

このほど、小学生や幼児に簡単な工作を教えるイベントを開催。親子連れら約60人が、割り

A group of children and adults are gathered around a wooden table, engaged in a craft activity. The table is covered with various materials and tools, including scissors, colored pencils, and paper shapes. One child in a red jacket is particularly focused on their work, while others look on. The setting appears to be a classroom or workshop environment.

子ども支援の

明石市の子どもたちの学習支援や居場所づくりを行
うと、同市のNPO法人「兵庫子ども支援団体」が
「みんなの家」と名付けた拠点開設を目指している。
在、公共施設などで行っている事業を、自分たちの
想に近い形で柔軟に運営するため、一戸建て住宅を
りる資金50万円を募っている。

NPO法人「兵庫子ども支援団体」が開設を目指す、明石市内の拠点の資金集めは、インターネットによるメール▽ウェブサイトへの名

前や企業名の掲載▽手作りの振り込みも可能。同法人
アクセサリープレゼント▽ ☎ 050・5586・54
新拠点の利用権——などの特 48

出資者には特典も

4月5日まで

郵便局のホームページ
→(https://readyfo
r.jp/projects/15225)